PAINTING〔塗装〕

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

ガンダムエピオン EW（エンドレスワルツ）指定色

- 本体などの塗装色
  ワインレッド（マルーン）（80%）
  +レッド（15%）+ホワイト（5%）
- ヒートロッドなどの塗装色
  ブラック（70%）+コバルトブルー（30%）
  上から、クリアブルー（70%）+クリア（30%）
- 太ももなどの塗装色
  ニュートラルグレー（65%）+パープル（25%）
  +ミッドナイトブルー（10%）
- 胸部ダクトなどの塗装色
  ホワイト（60%）+オレンジイエロー（35%）
  +蛍光オレンジ（5%）
- 胸などの白の塗装色
  ホワイト（95%）
  +ニュートラルグレー（5%）
- 目などの塗装色
  クリア（40%）クリアブルー（40%）
  +クリアグリーン（20%）

●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ワンポイントステップ ~One point step~

顔を中心にスミ入れしてみよう！

ガンダムマーカー/スミ入れ用（別売り）などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。
スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。

【before】

【after】

ミリアルド・ピースクラフト（ゼクス・マーキス）

- 顔などの肌色部
  はだ色（90%）+ホワイト（10%）
- 髪などの塗装色
  ホワイト（70%）+イエロー（20%）
  +ニュートラルグレー（10%）
- コートの塗装色
  ニュートラルグレー（60%）
  +ホワイト（30%）+ウッドブラウン（10%）
- 制服の塗装色
  オリーブドラブ（1）（50%）+濃緑色（2）（50%）
- ブーツの塗装色
  ミッドナイトブルー（100%）
- パイロットスーツの塗装色
  ワインレッド（マルーン）（80%）+レッド（15%）
  +ホワイト（5%）

MG MASTER GRADE
OZ-13MS
「ガンダムエピオン EW（エンドレスワルツ）」
1/100スケール
マスターグレードモデル

GUNDAM EPYON OZ-13MS
NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
OZ-13MS GUNDAM EPYON 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL

© 創通・サンライズ

GUNDAM EPYON
MOBILE SUIT OZ-13MS

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
OZ-13MS GUNDAM EPYON 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL

MG MASTER GRADE

OZ-13MS
「ガンダムエピオン EW（エンドレスワルツ）」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI

BANDAI 2011 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。

0170379

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W

MS Design

「TV版」ガンダムエピオンと「エンドレスワルツ版」ガンダムエピオン

ガンダムエピオンEWの"EW"とは、OVA『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』に由来する。"エピオン"はTVシリーズ後半のライバル機として登場し、トレーズの信条を象徴するイコンとして機能していた。

作品中のガンダムエピオンの存在感は圧倒的であり、さらに言えば、紛れもない新たな主役機でもあった。なぜなら、本編中でこの機体に初めて搭乗したのは主人公ヒイロ・ユイその人であったからだ。また、本機が登場しないEWにおいても、トールギスⅢのヘッドデコレーションやヒートロッドなどに、そのイメージは継承されていた。TVシリーズの物語を語り直すにあたり、トレーズの矜持は"エピオン"抜きに語る事はできない。

TVシリーズ『新機動戦記ガンダムW』は好評を博した。そして放映終了後、熱烈なファンの要望に応える形で『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』が全3話のOVAとして製作されることとなった。エピソードとしてはTVシリーズの後日譚であり、軍事力を否定する物語でありながら、主人公たちのMSもまた兵器に他ならないジレンマに決着をつけるという趣向であった。さらに、両者の世界は＝(イコール)ではなく≒(ニアイコール)。言わばパラレルワールドとも呼べる世界であり、特に主役級MS(モビルスーツ)のデザインは完全に刷新された。カトキハジメ氏によるOVA版のデザインは、大河原邦男氏によるTV版デザインを踏襲しつつ、より深く世界観に寄り添う形で手がけられていた。劇中に登場するのは、いわゆる"パワーアップ版"である後継機のみだが、OVA版の世界観を俯瞰した場合、その初期型が存在して然るべきとしてカトキ氏が描いた機体がEW版、俗に"アーリータイプ"と呼ばれる機体群なのである。

▲カトキハジメ氏が描き下ろし、劇場版『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』のパンフレットに掲載されたイラスト

MG ガンダムエピオン(EW版)

OVA版のタイムラインはTV版の一年後であり、"火消しのウインド"ことゼクス・マーキスの搭乗機としてエピオンのポジションに置かれた機体は、特別仕様のトールギスⅢであった。つまり、EW版のエピオンは本来存在しない。しかし、この世界における「もう一方の正義」を掲げるトレーズが、その理想を注ぎ込んで造り上げた"ガンダムエピオン"は、ウイングガンダム、ガンダムデスサイズ、ガンダムヘビーアームズ、ガンダムサンドロック、シェンロンガンダムといった"アーリーモデル"の延長線上に当然存在して然るべきプライオリティを持つ機体でもある。

'95年のTVシリーズから16年を経てエピオンは再誕した。そのシルエットは5機のガンダムとの"闘い"を具現する"異形"である。その佇まいこそが、もう一度紡がれる物語に必要不可欠な存在であることは言うまでもないだろう。

Gundam W Story Playback

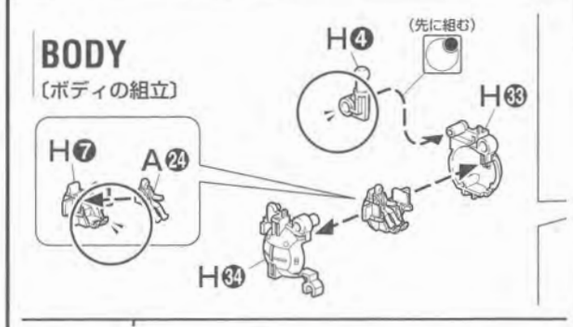
エピオン(EPYON)とは、「次の」「次世代の」という意味のギリシャ語で、トレーズ・クシュリナーダが自らの理想を体現する"闘うためのMS"として開発、命名した機体である。5機の"ガンダム"を解析し、その成果を採り入れつつ、武器はビームソードとヒートロッド、クローなど近接用のもののみで、遠距離攻撃用の武器を一切持たないことが特徴である。ウイングガンダムやウイングゼロのバード形態と同様に、長距離高速移動用のモード(MA形態と呼ばれる)への変形機構を持つ。また、ゼロシステムと同様のインターフェイスを備え、相応の技量と強靭な精神力を持つ者でなければ乗りこなす事はできない。失脚したトレーズがルクセンブルクのとある古城の地下施設で完成させていた。彼を暗殺すべく古城に潜入したヒイロに対し、トレーズは「自分がエピオンに乗った際、選択すべき未来が見えなかった」と告白する。そして、もしヒイロもそうであったなら、共にこの世に別れを告げようと持ちかけ、「その機体に乗って勝者となってはならない」と言い添えて機体を託した。ヒイロはそのままサンクキングダム防衛戦に介入。ゼクスのウイングゼロと交戦した後、互いの機体に乗り換え、以後はゼクスの乗機となった。その後、ゼクスはミリアルドを名乗ってホワイトファングの司令官に就任。エピオンはその象徴となり、トレーズ率いる世界国家軍と対峙することとなる。全世界が注視するリーブラ攻防戦において、ヒイロのウイングゼロと激戦を繰り広げるも、エピオンの左腕を斬り落とされたゼクスは敗北する。その後、エピオンは地球へと降下し始めたリーブラのエンジンブロックを破壊。諸共に爆散し、ゼクスの消息も途絶えるのであった。

ミリアルド・ピースクラフト
(ゼクス・マーキス)
地球圏統一連合スペシャルズ(秘密結社OZ)の上級将校。しかし、その正体は完全平和主義を唱えた亡国サンクキングダムの王子で、リリーナの兄であった。

組み立て前の基本説明

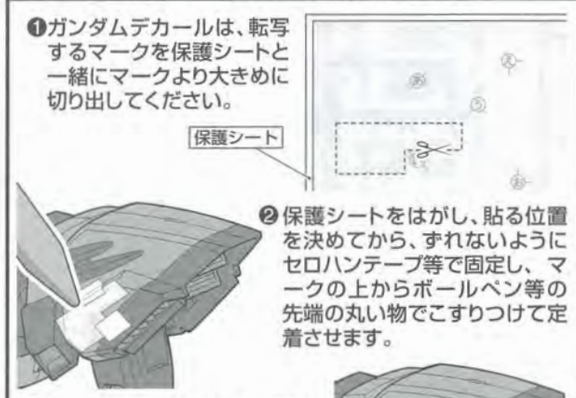
部品の向きに注意してください

※組み立て図中に▽のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

❶ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

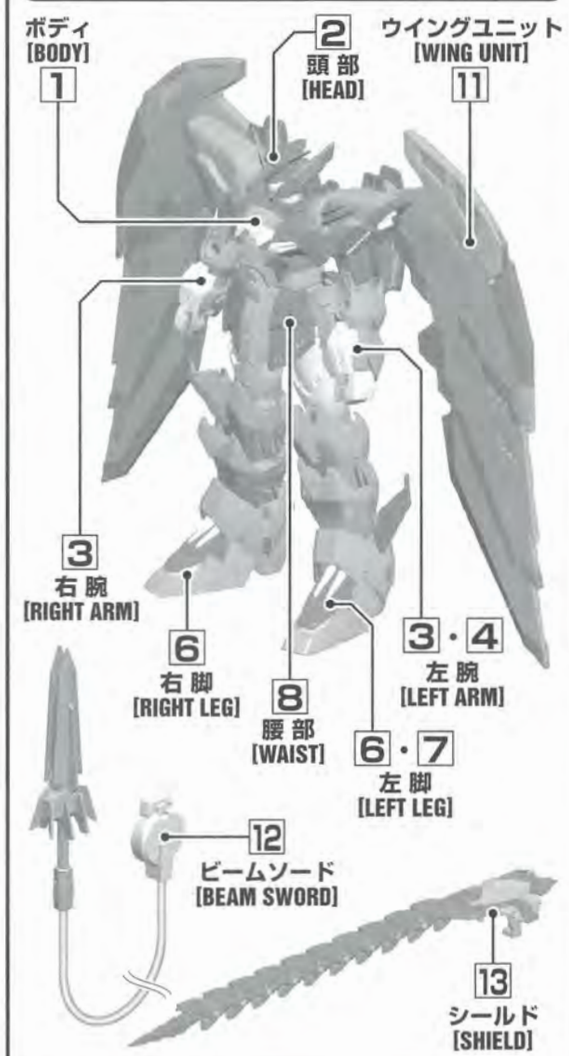


❷保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

❸シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

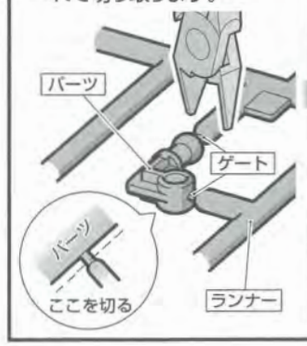
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

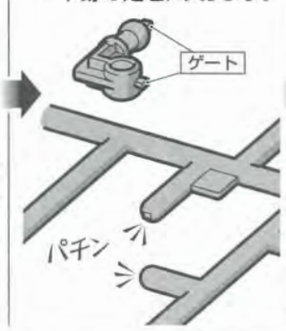


パーツの切り取りかた

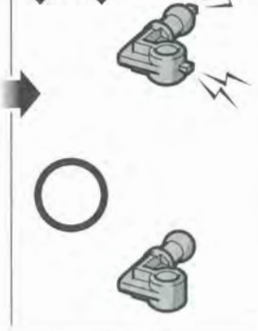
❶まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



❷パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

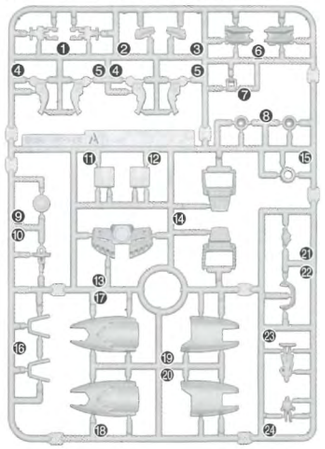


❸ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。

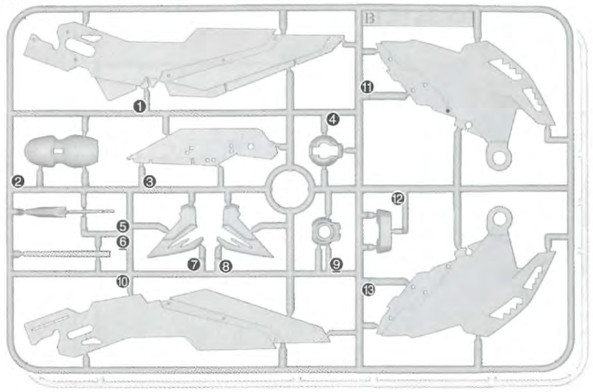


パーツリスト （×印は使用しないパーツです。）

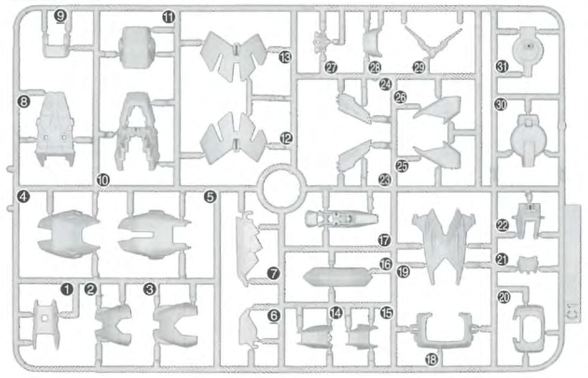
Aパーツ（スチロール樹脂：PS）



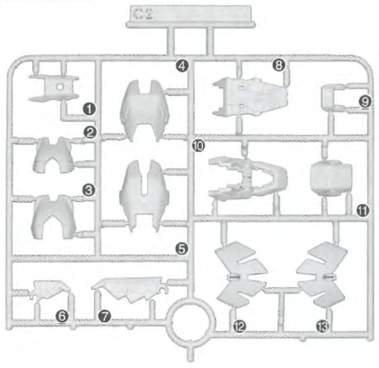
Bパーツ（×2）
（スチロール樹脂：PS）



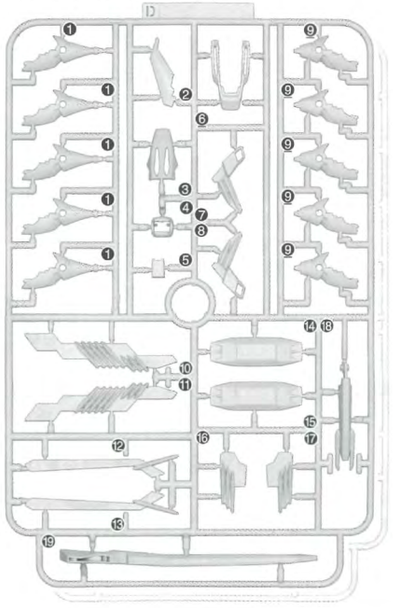
C1パーツ（スチロール樹脂：PS）



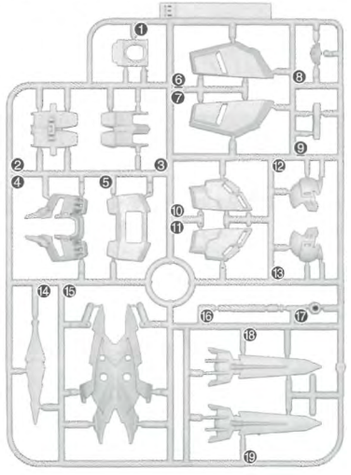
C2パーツ（スチロール樹脂：PS）



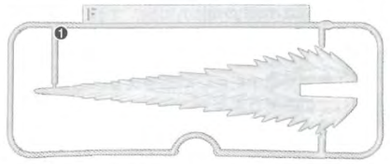
Dパーツ（×2）
（スチロール樹脂：PS）



Eパーツ（スチロール樹脂：PS）

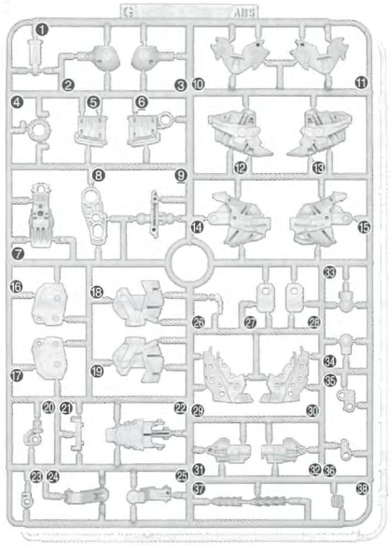


Fパーツ（スチロール樹脂：PS）

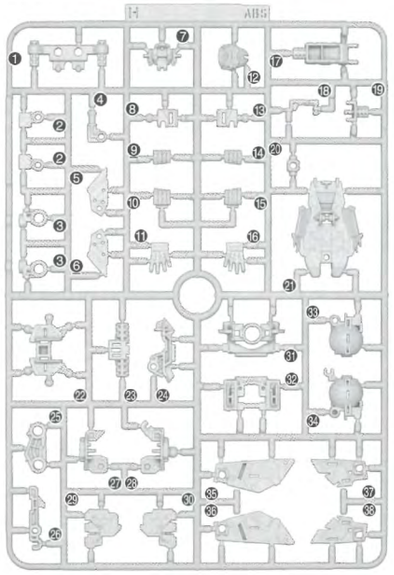


⚠形状再現上とがっており危険です。
注意して組み立ててください。

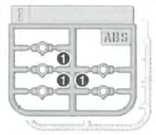
Gパーツ（ABS樹脂：ABS）（×2）



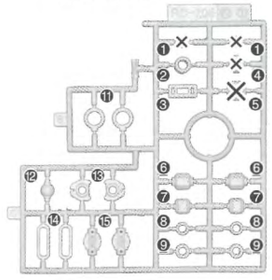
Hパーツ（ABS樹脂：ABS）



Iパーツ（×2）
（ABS樹脂：ABS）



PC-205BC
（ポリエチレン：PE）



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

カラーシール……1枚
マーキングシール……1枚
ガンダムデカール……1枚
リード線……1本
（塩化ビニル樹脂：PVC）

⚠ 注　意

必ずお読みください

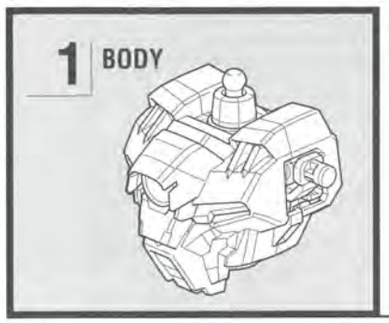
- ●この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- ●小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ●誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ●ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- ●小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。
- ●先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

〈組み立てる時の注意〉

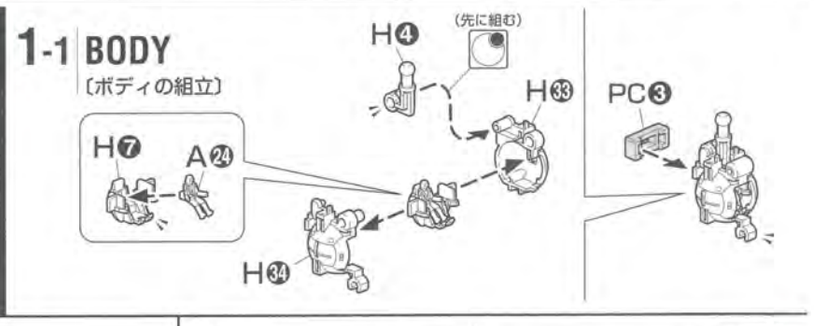
- ●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- ●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- ●部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- ●部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- ●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

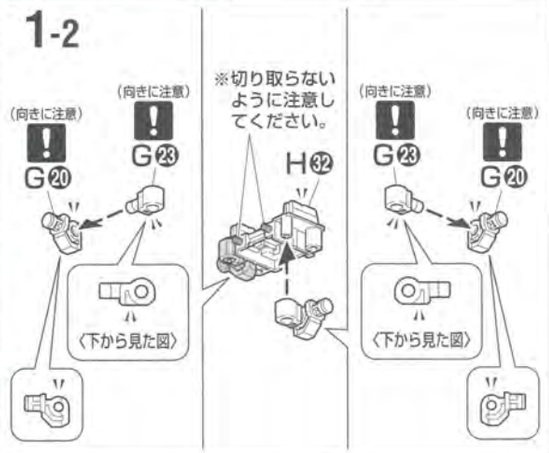
1 BODY



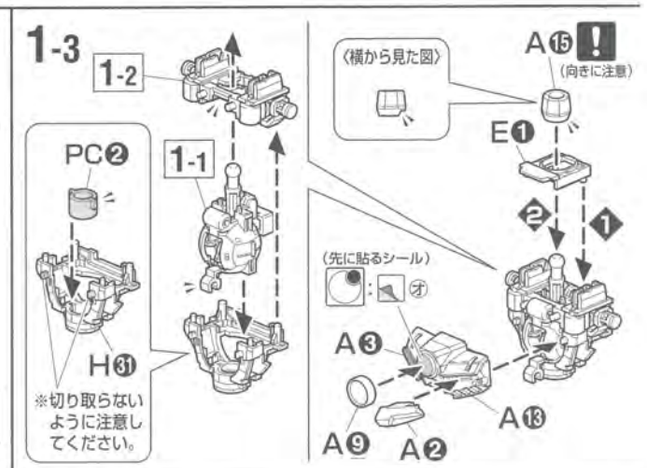
1-1 BODY
〔ボディの組立〕



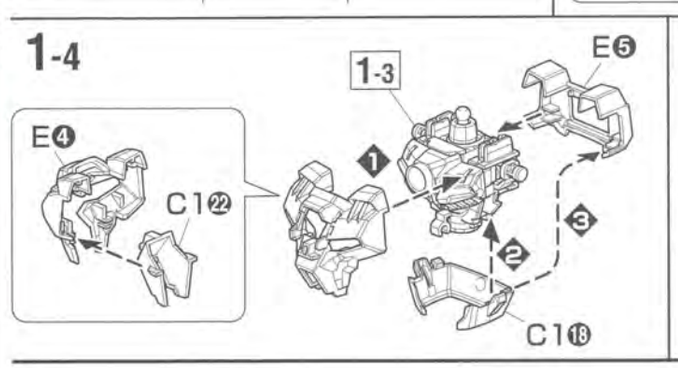
1-2



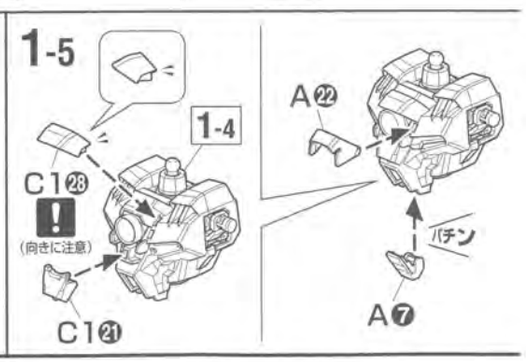
1-3



1-4

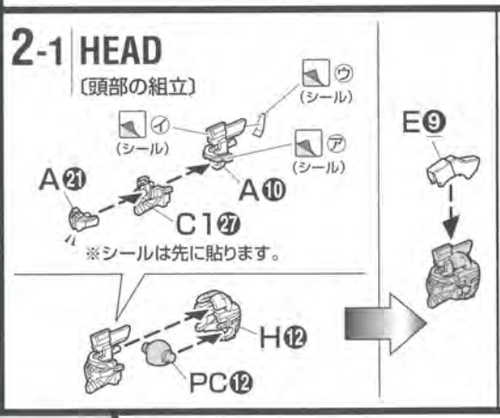


1-5

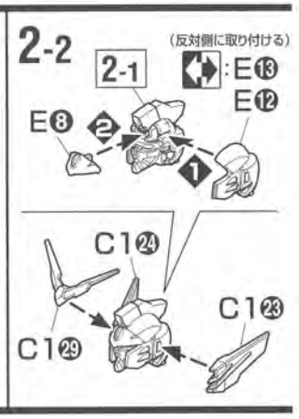


2 HEAD

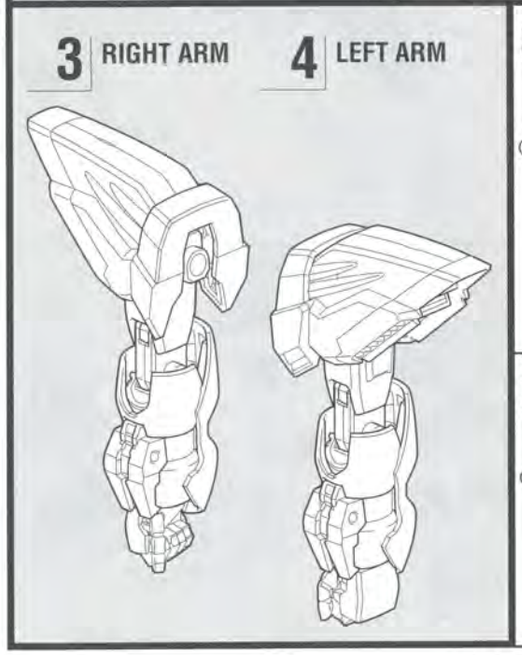
2-1 HEAD
〔頭部の組立〕



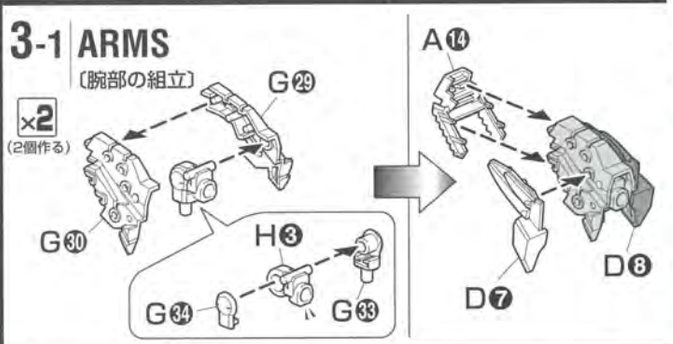
2-2



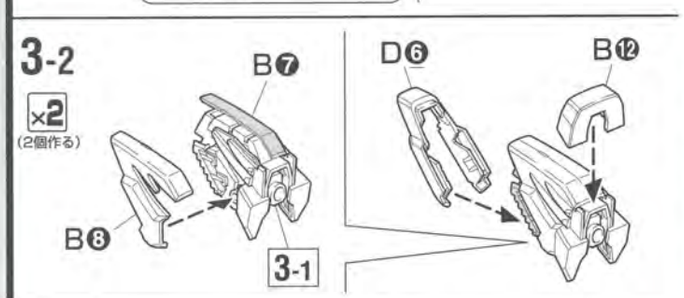
3 RIGHT ARM　4 LEFT ARM



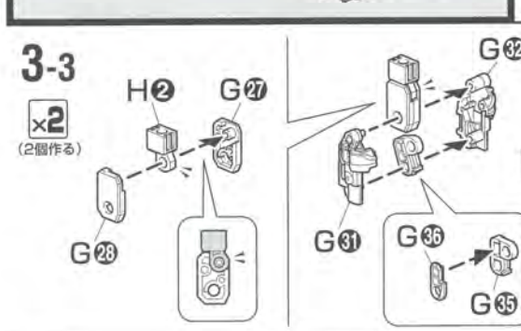
3-1 ARMS
〔腕部の組立〕



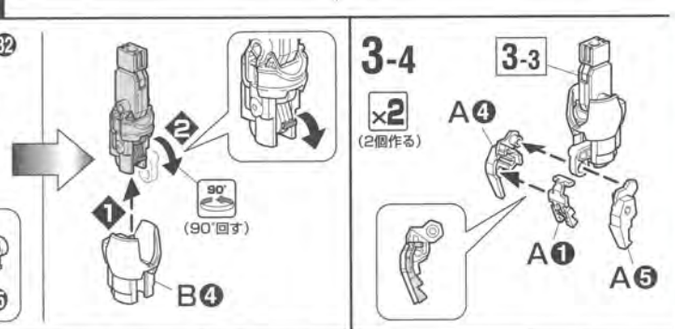
3-2



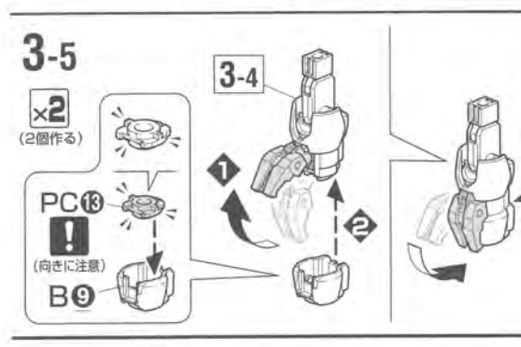
3-3



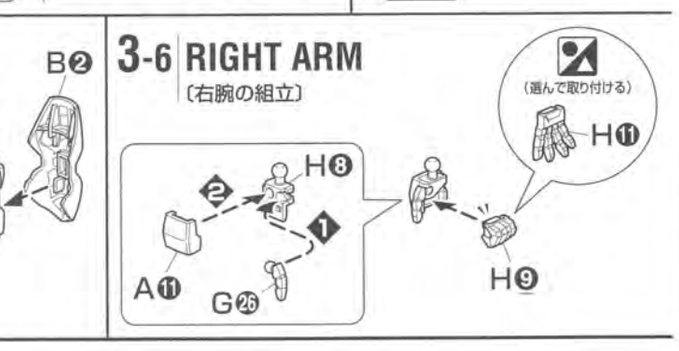
3-4



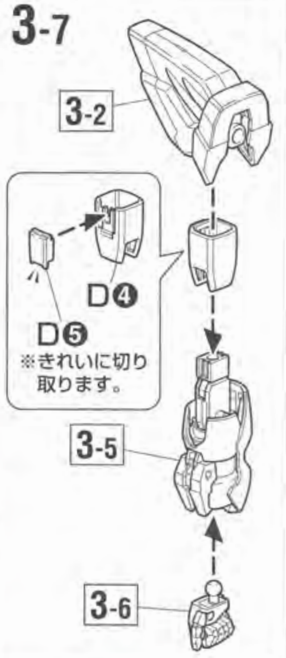
3-5



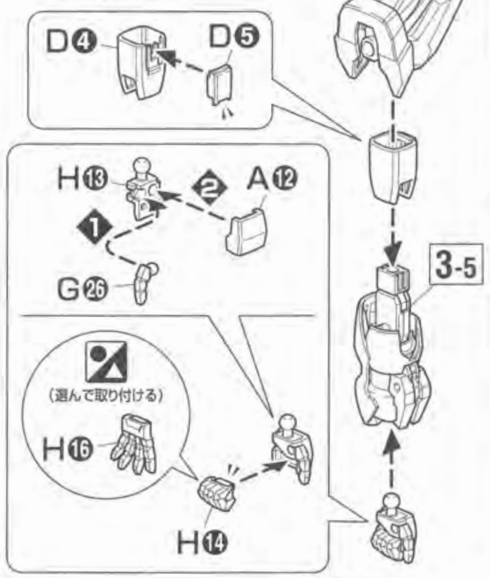
3-6 RIGHT ARM
〔右腕の組立〕



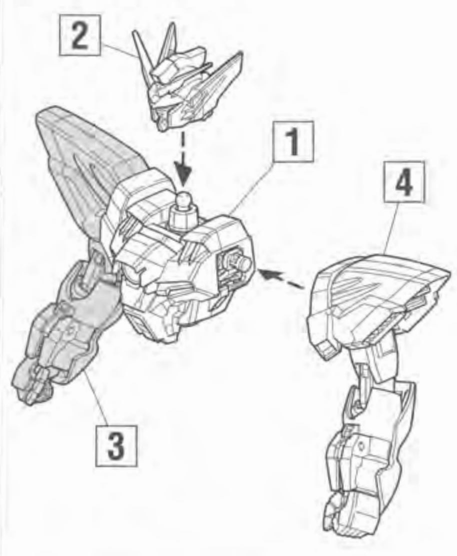
3-7



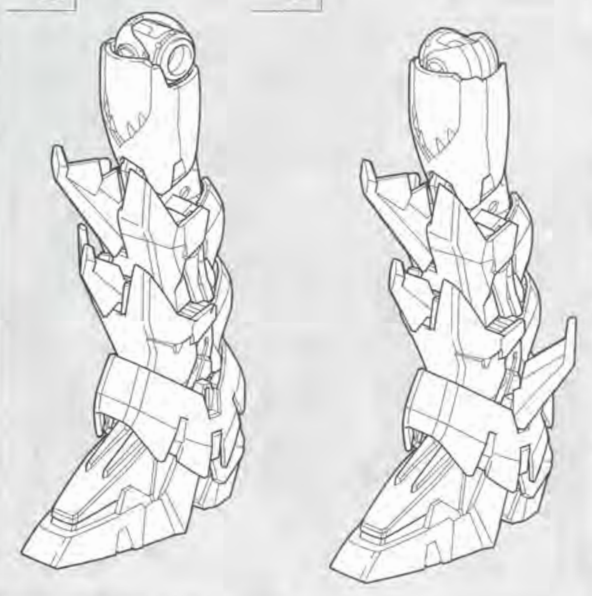
4 LEFT ARM
〔左腕の組立〕



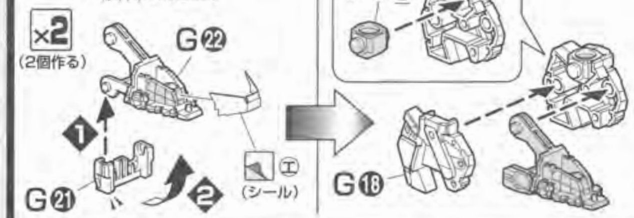
5 UPPER BODY
〔上半身の完成〕



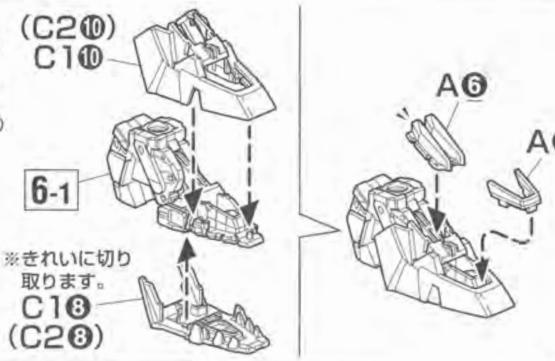
6 RIGHT LEG
7 LEFT LEG



6-1 LEGS
〔脚部の組立〕

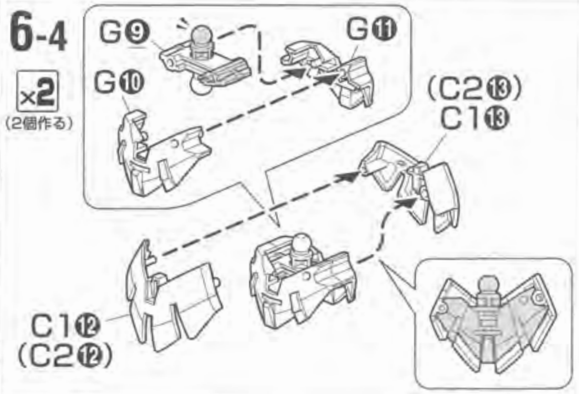


6-2

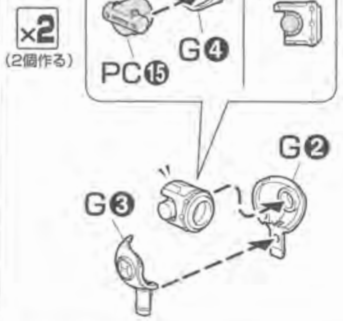


6-3

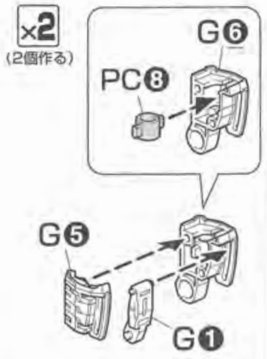
6-4



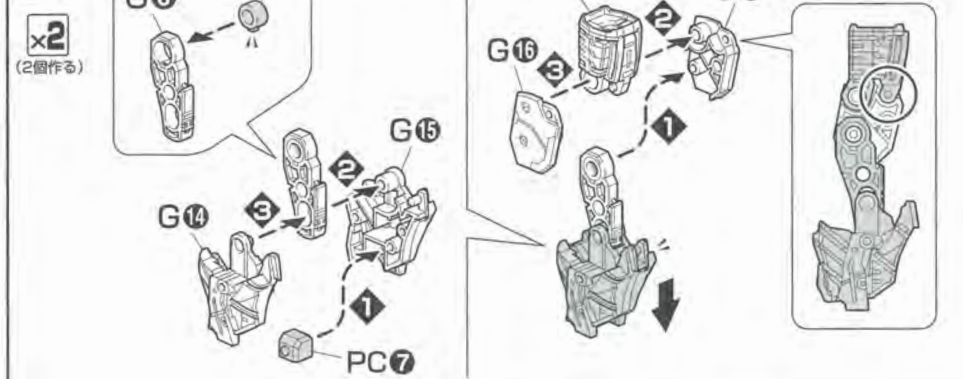
6-5



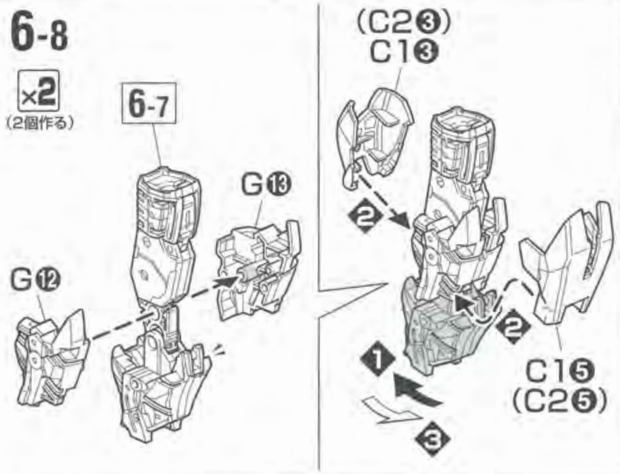
6-6



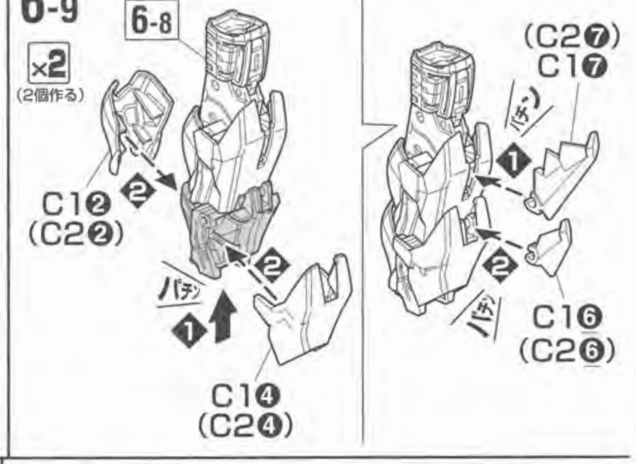
6-7



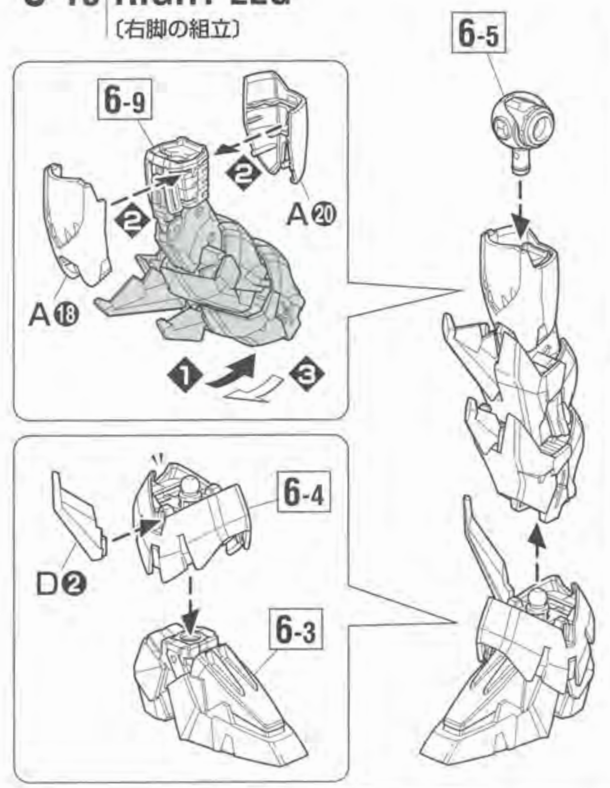
6-8



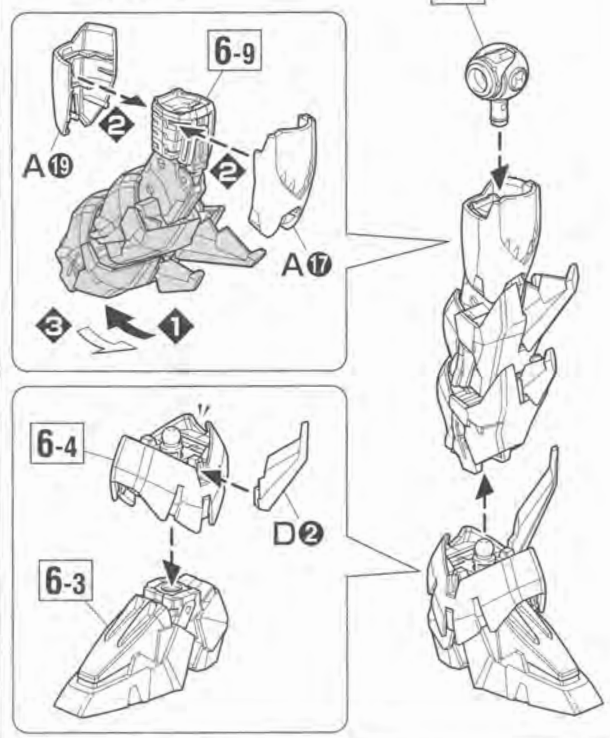
6-9



6-10 RIGHT LEG
〔右脚の組立〕



7 LEFT LEG
〔左脚の組立〕



GUNDAM W ANOTHER ASPECT

ZERO vs EPYON（ウイングゼロvsエピオン）

「このまま一気にサンクキングダムだ!!」ウイングガンダムゼロに乗り換えたゼクスは、宇宙から直接地球へと降下する。しかし、時すでに遅く、MDビルゴⅡの大軍に攻め込まれたサンクキングダムは崩壊したも同然だった。しかし、いまだ硝煙がくすぶる廃墟と化した街の中、ヒイロが駆るガンダムエピオンは戦い続けていた。「敵は……俺の敵はどこだ!?」コクピットに搭載されたゼロシステムに支配され、ヒイロは完全に自分を見失っていた。「ガンダム? 新型か!!」バード形態で海上からサンクキングダムを目指すゼクスは、見慣れぬ機体に戸惑っていた。接近するウイングゼロを認めたエピオンがビームソードを起動する。「このウイングゼロに決戦を挑むつもりなのか!?」ゼクスは機体を変形させ、ビームサーベルを抜き放つと同時にエピオンに斬りかかる。「ヒイロ・ユイ!? なぜお前がここに」「ゼクス、貴様がその機体を選んだのはミスだ」鍔迫り合いで睨み合うウイングゼロとエピオン。「ヒイロ、戦況を確認する。貴様は敵か?」「ゼロに聞け」「何!?」その瞬間、サンクキングダムが崩壊したことを知ったゼクスは、戦いの意味に疑問を感じつつ、それでもゼロシステムに導かれるまま、純粋な戦士としてエピオンと闘うことを選択する。そして、MS同士の限界を越えた"決闘"が始まってしまうのだった。

※写真はイメージです。

Collision In Space（激突する宇宙）

ミリアルド・ピースクラフト＝ゼクス率いるホワイトファングと、自らトールギスⅡを駆って前線に立つトレーズが指揮を執る世界国家軍の戦いは激しさを増していた。どちらにも属さないガンダムパイロットたちではあったが、現状ではホワイトファングが拠点とするリーブラが人類に対する脅威であると判断し、デュオ、トロワ、カトル、五飛は、それぞれ愛機を駆って出撃。ピースミリオンも進撃を開始する。「私が出る」対応に苦慮するカーンズの報告に、ゼクスは護衛のビルゴⅡを3機だけ従え、エピオンでガンダムを迎え撃つ。「護衛にビルゴが3機だけ。楽勝だぜ!!」たった4機での迎撃に軽口を叩くデュオ。「教えてやろう。MDも使い方次第だという事を!!」ゼクスのエピオンとビルゴⅡの絶妙なコンビネーションに翻弄されるガンダムパイロット。しかしその間隙を突いて、ピースミリオンはリーブラの主砲目がけ特攻を仕掛ける。「おい、いくら何でも無茶だぜ!!」「だが、あれしか方法はない」ピースミリオンがリーブラの主砲区画に激突し、双方の艦内は大混乱に陥る。そして、リリーナと共にリーブラから脱出したヒイロは、ピースミリオンに帰還するが早いかウイングゼロに乗り込み、ゼクスとの決着を付けるべく出撃する!!

GUNDAM W FEATURE #3

GUNDAM-W Endless Waltz 敗者たちの栄光 シナリオ 隅沢克之 漫画 小笠原智史

月刊ガンダムエース GUNDAM 4

新機動戦記ガンダムW Frozen Teardrop 著 隅沢克之 装画 あさぎ桜 カトキハジメ

コミック／単行本1巻好評発売中

Comic 机上のモニターに映し出されたMS・・・。トレーズの次なる一手とは?

「ああ、それからG（ガンダニュウム）合金も調達しなくてはならないな……」A.C.195年。"オペレーション・メテオ"を察知したトレーズ・クシュリナーダは、大きな時代の胎動を確信していた。そしてコロニーの技術の粋が凝らされた5機の"ガンダム"を目撃し、自らの理想を託すに相応しい"次なる"MSの開発を決意する……。後に幽閉された古城で完成を見たその機体の名は"エピオン"。その構想はガンダム出現の時まで遡る!?

『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 敗者たちの栄光』は「月刊ガンダムエース」（角川書店刊）にて好評連載

Novel 監視衛星が捕らえた機影・・・。『キュレネの風』が動く。

地球圏の"完全平和"達成から数十年後、火星は独自に連邦政府を樹立。M.C.（マーズセンチュリー）に移行した。そしてコールドスリープから目覚めたヒイロに「リリーナ・ピースクラフトを暗殺せよ」との指令が下る!! 新型MS『白雪姫（スノーホワイト）』を駆り、"若き"デュオの『魔法使い（ワーロック）』と共に、カトルの"歳の離れた妹"カトリーヌが奪ったMSプロメテウスを追うヒイロの運命は？さらに"新たな"エピオンが起動する!!

『新機動戦記ガンダムW フローズン・ティアドロップ』は「月刊ガンダムエース」（角川書店刊）にて好評連載

小説／単行本1,2巻好評発売中

GUNDAM EPYON OZ-13MS

TVシリーズの「ガンダムエピオン」がエンドレスワルツ仕様のデザインに生まれ変わって登場!

OVAシリーズを再構成した劇場版『Endless Waltz特別編』。そのパンフレットにカトキハジメ氏が描き下ろした5機のガンダム。これらは俗に"アーリータイプ"と呼ばれ、映像作品には登場しないものの、世界観的には存在するはずの"パワーアップ前の機体"を想定して描かれたものだ。そして2010年の「月刊ガンダムエース（角川書店刊）」および「サンライズ」のタッグによる『ガンダムW』再起動と、コミック『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 敗者たちの栄光』連載開始に伴い、コミックに登場するMSのデザインは"アーリータイプ"が採用されることとなった。これを受けてMG化も同時に始動。"アーリータイプ"MG第4弾は、サプライズとともに告知されたガンダムエピオン。今回のプロジェクトの隠し球として、カトキハジメ氏がTV版の機体を元に新たに手がけた。もとよりディアボリックなシルエットに更なるブラッシュアップを施す一方で、よりケレン味を増したギミックの追加など、『新生ガンダムW』MGシリーズのライバル機としてその存在感を存分に漂わせている。

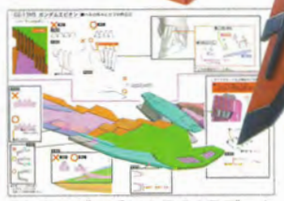
首の可動は飛翔ポーズに対応した広範囲な可動を実現。

頭部は敵役としてその表情が特徴的に感じられる造形となっている。

MG GUNDAM EPYON MODEL DATA

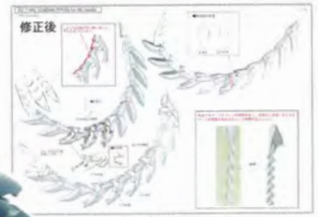
MA FORM

双頭の竜のようなシルエットに変形。腕部の爪は引き出しギミック、竜の頭となる脚部には開口ギミックが設けられている。



カトキハジメ氏によるCADデータへの指示。細部にわたり形状へのこだわりが書き込まれている。

大型ビームソードは腰アーマーからリード線により連結。ビーム刃はクリアパーツで再現。



ヒートロッドの形状についての記述。"しなり"を表現するために、細かくイメージを伝えている。

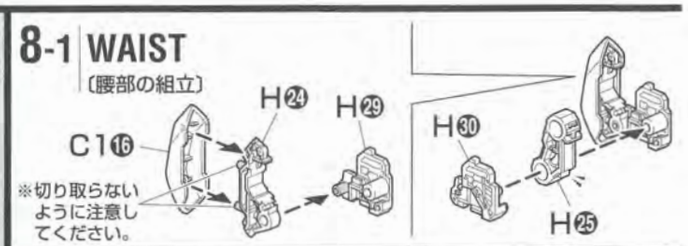
連結した各パーツを奥に押し込むことでロックされ、直線状に固定できる。

ACTION

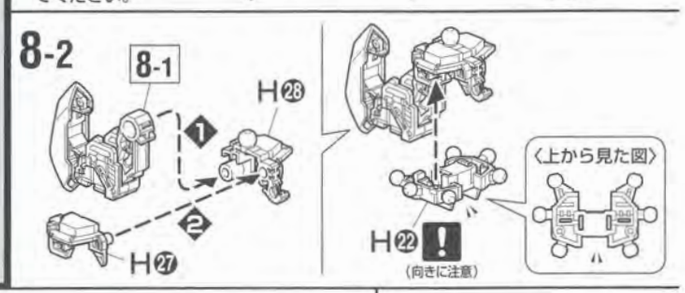
写真はバンダイプラモデル アクションベース1（別売り）を使用しています。

8 WAIST

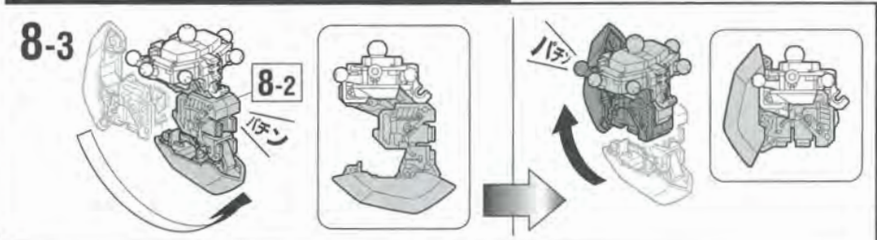
8-1 WAIST
〔腰部の組立〕



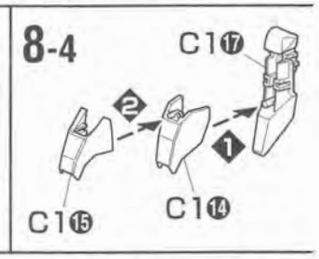
8-2



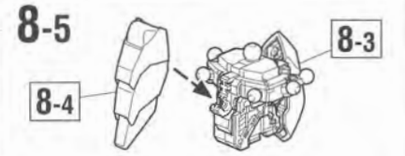
8-3



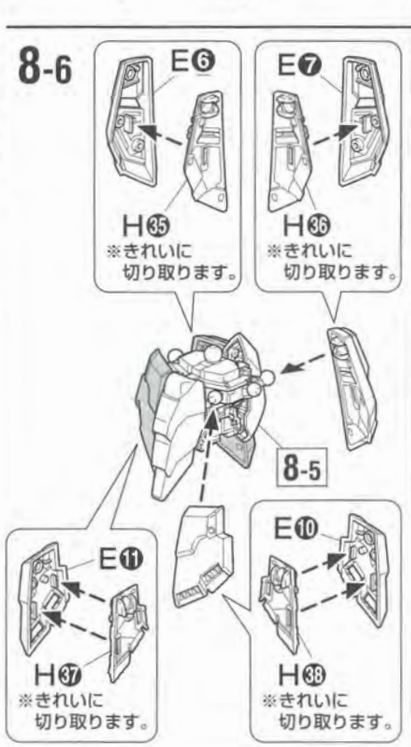
8-4



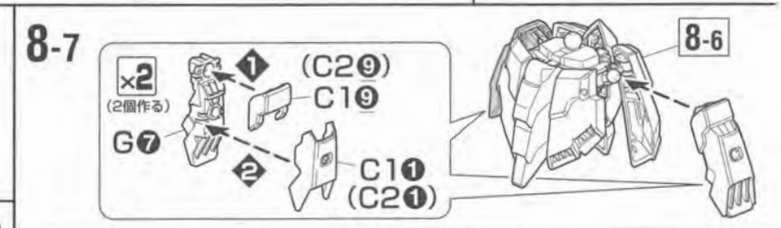
8-5



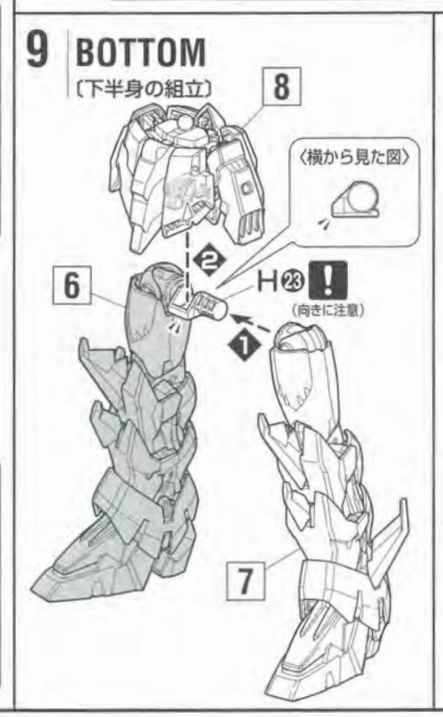
8-6



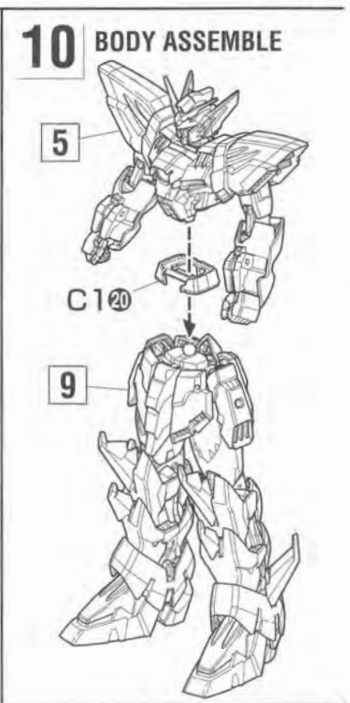
8-7



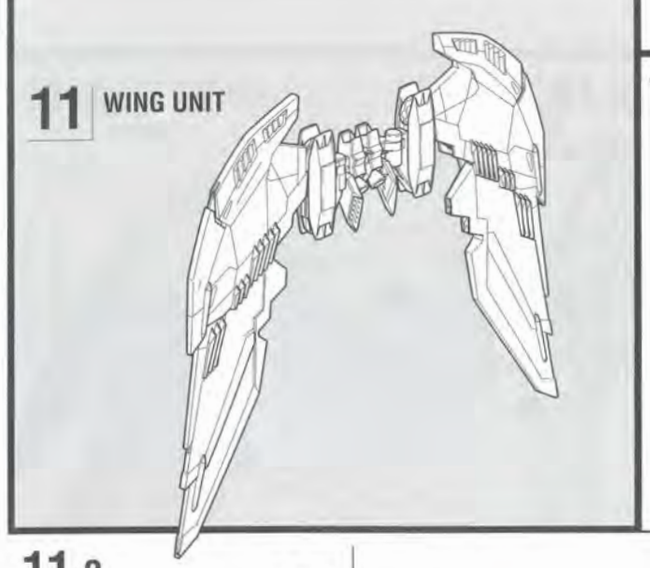
9 BOTTOM
〔下半身の組立〕



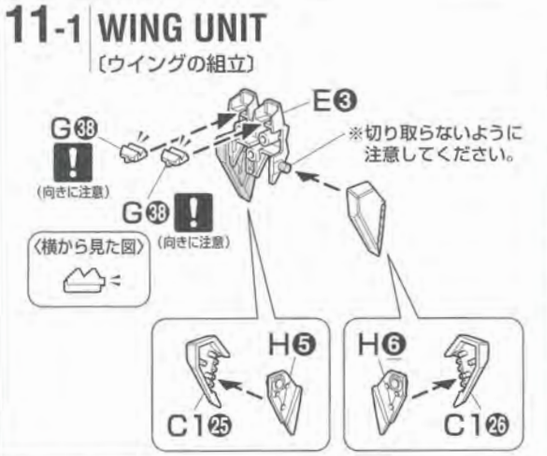
10 BODY ASSEMBLE



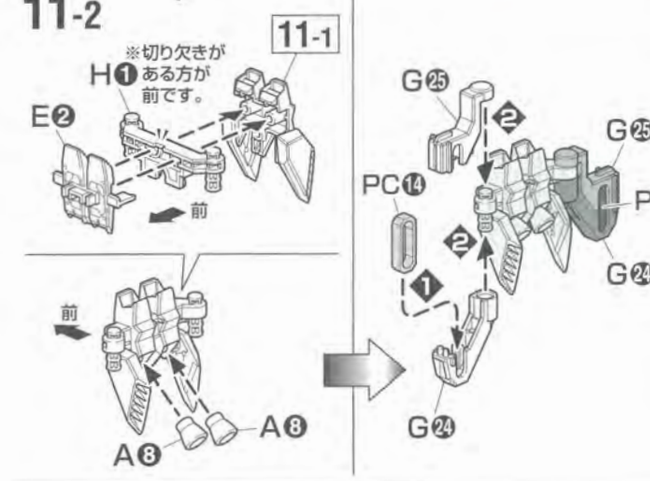
11 WING UNIT



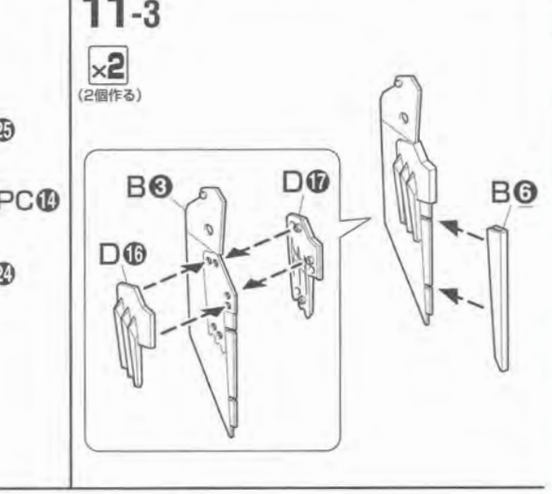
11-1 WING UNIT
〔ウイングの組立〕



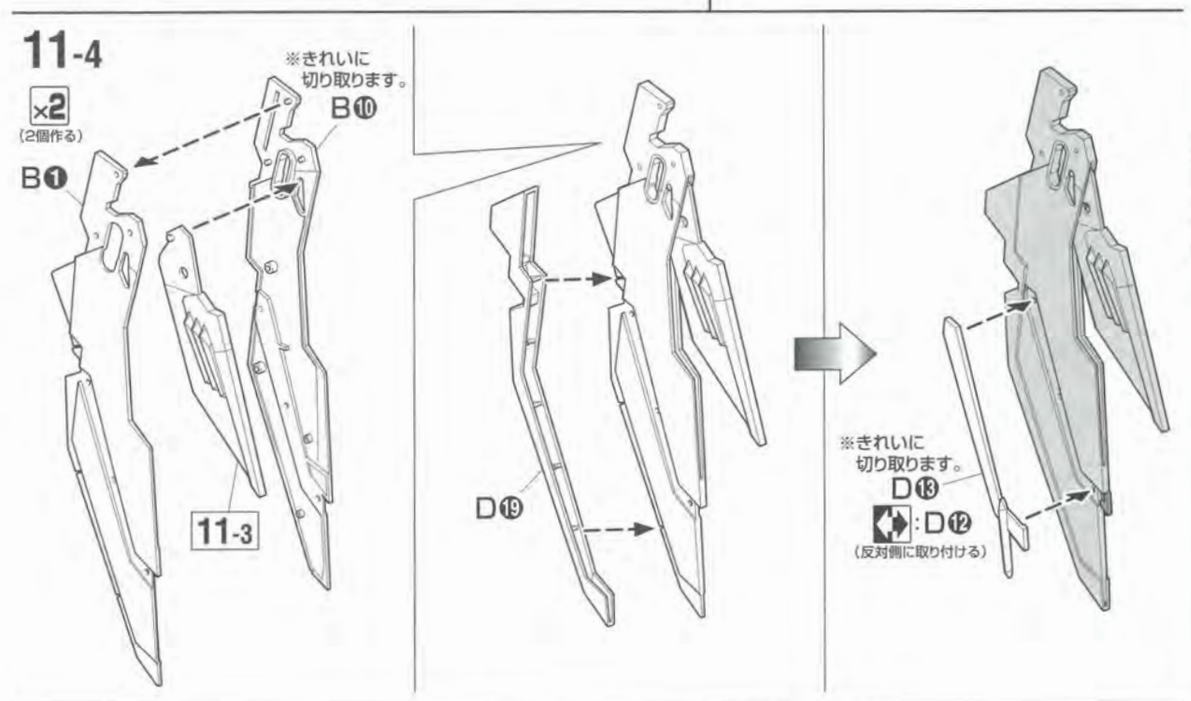
11-2



11-3

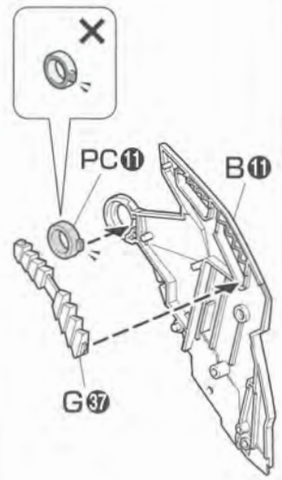


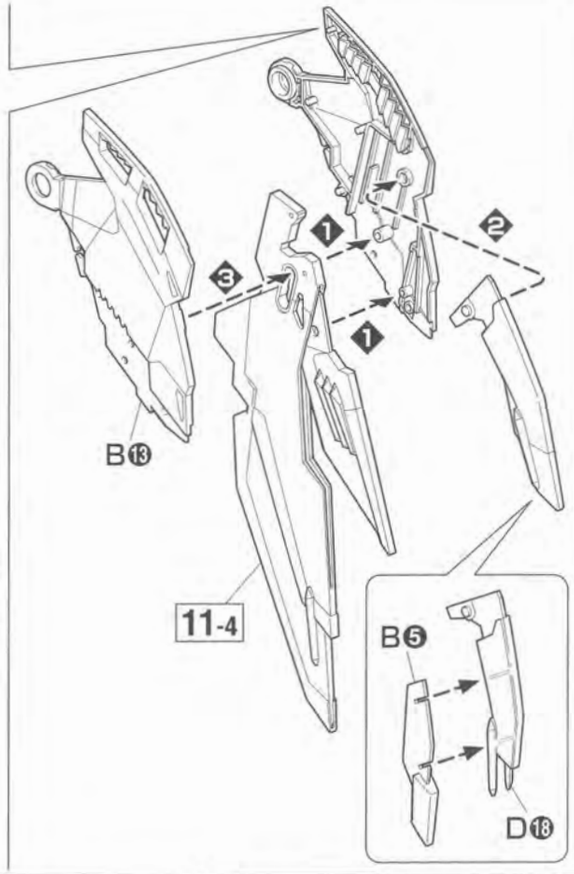
11-4



11-5

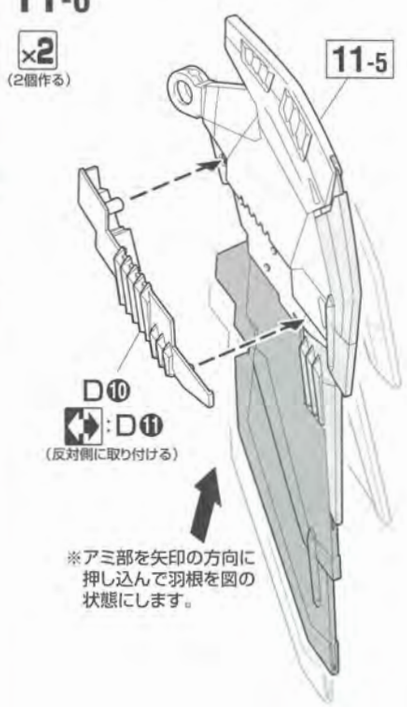
×2
(2個作る)



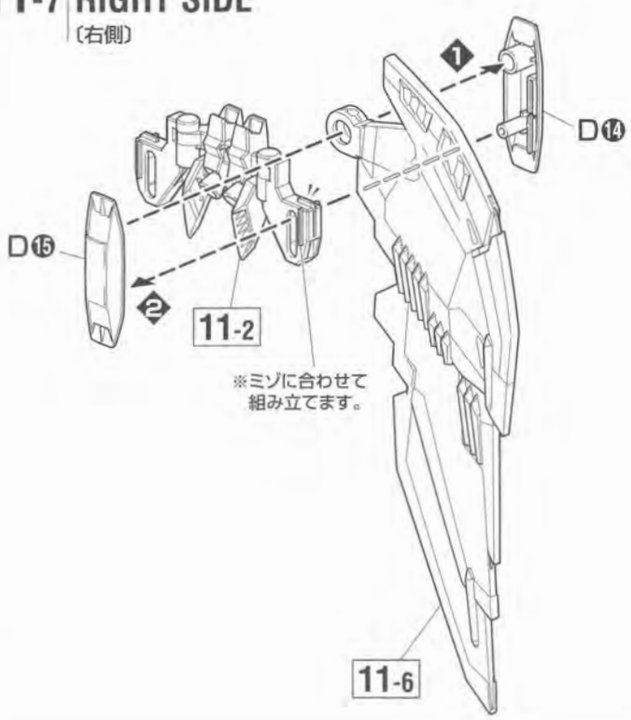


11-6

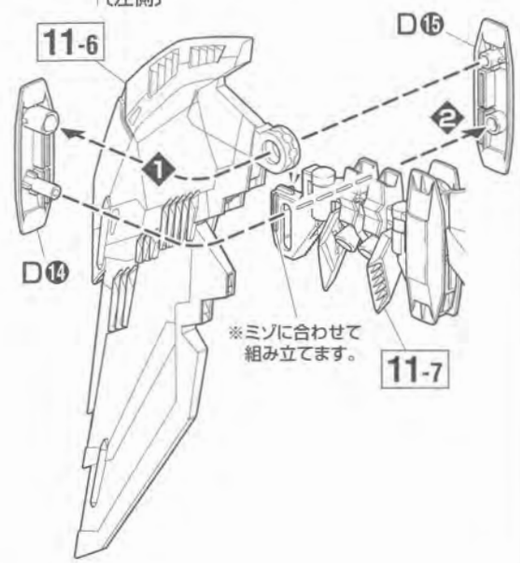
×2
(2個作る)



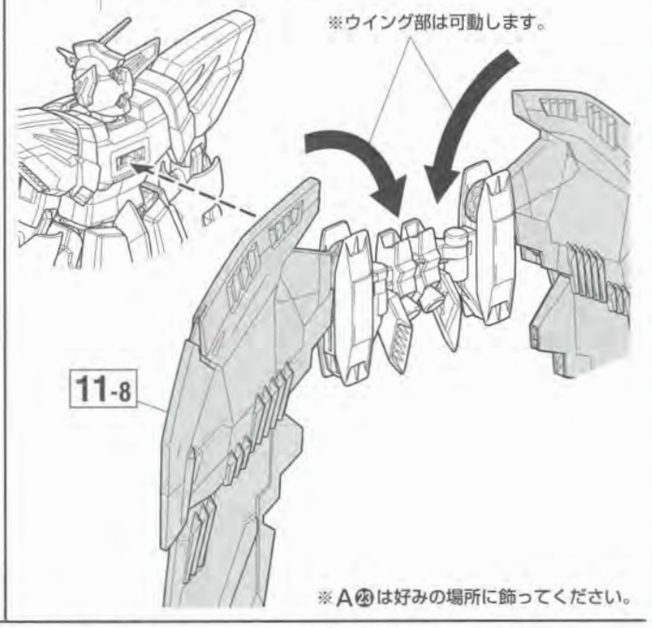
11-7 RIGHT SIDE
〔右側〕



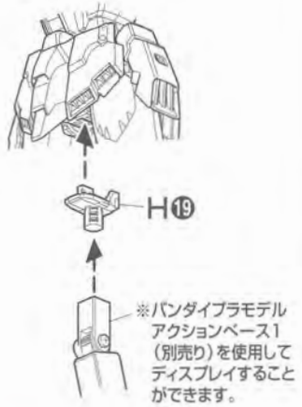
11-8 LEFT SIDE
〔左側〕



11-9 FINAL ASSEMBLE



11-10

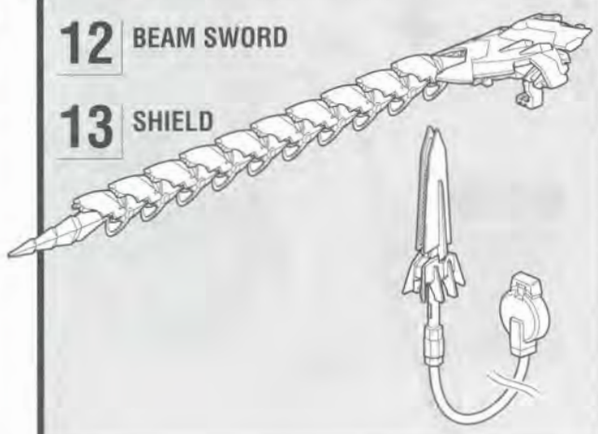


〈コクピットハッチの開け方〉

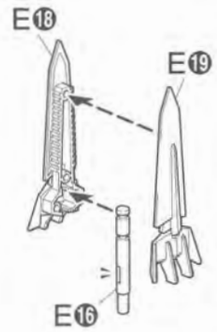
〈ウイングの展開〉

12 BEAM SWORD

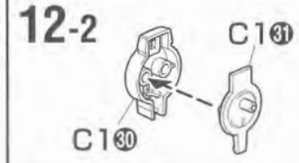
13 SHIELD



12-1 BEAM SWORD
〔ビームソードの組立〕

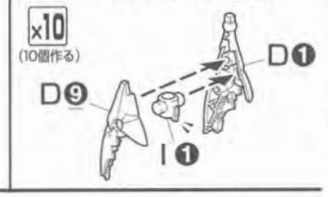


12-2

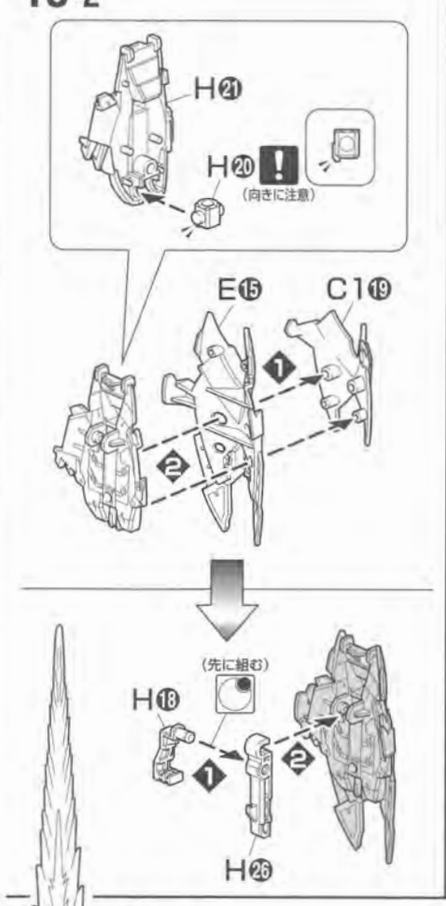


13-1 SHIELD
〔シールドの組立〕

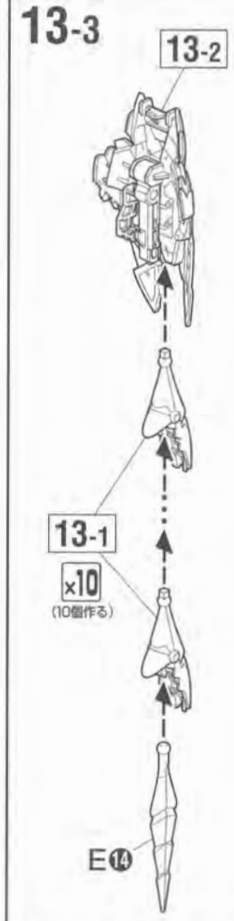
×10
(10個作る)



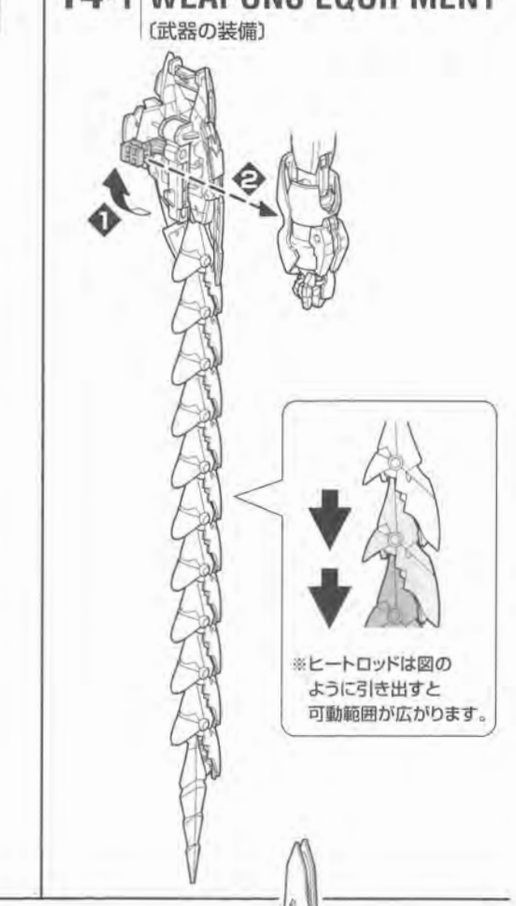
13-2



13-3

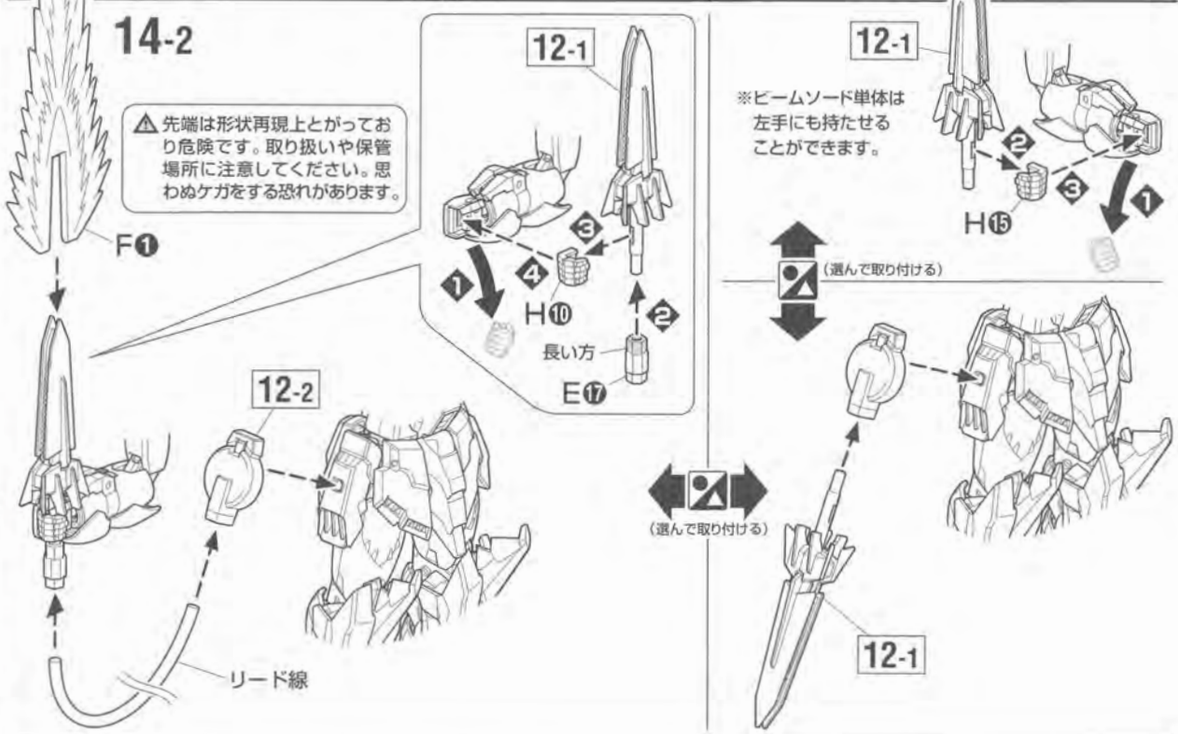


14-1 WEAPONS EQUIPMENT
〔武器の装備〕

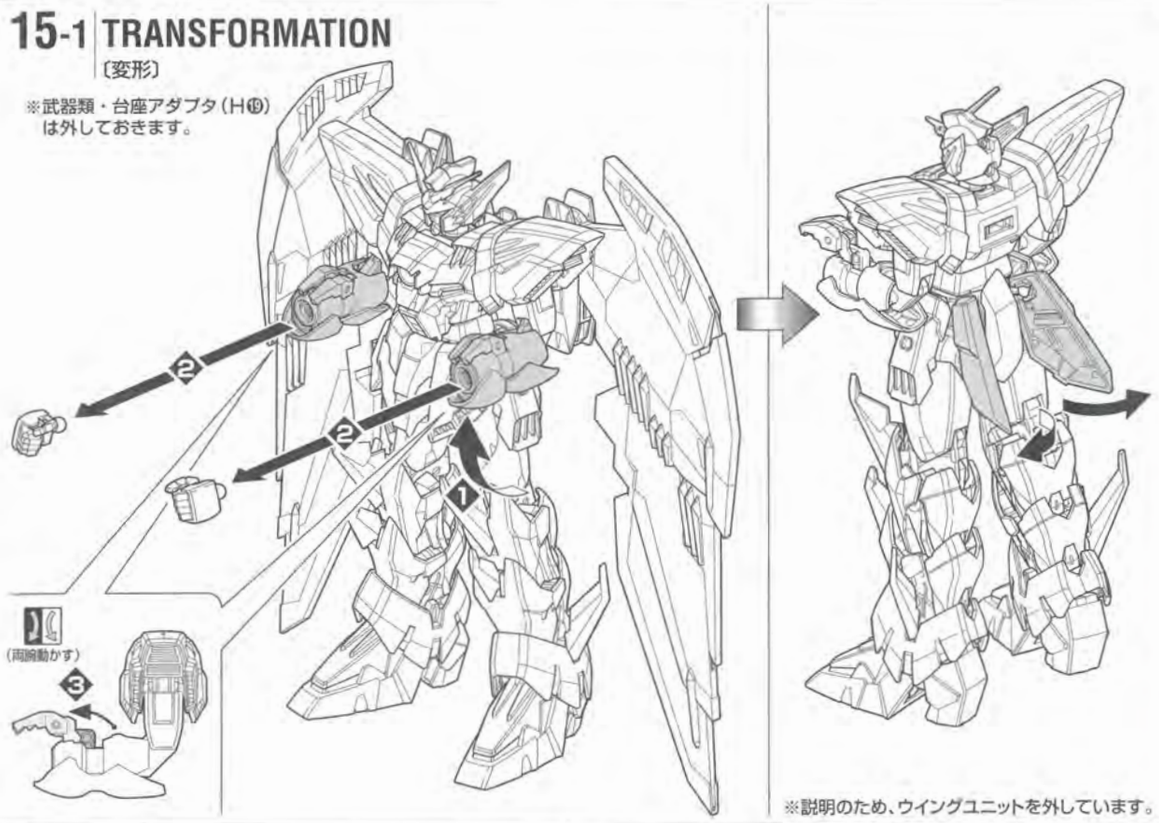


14-2

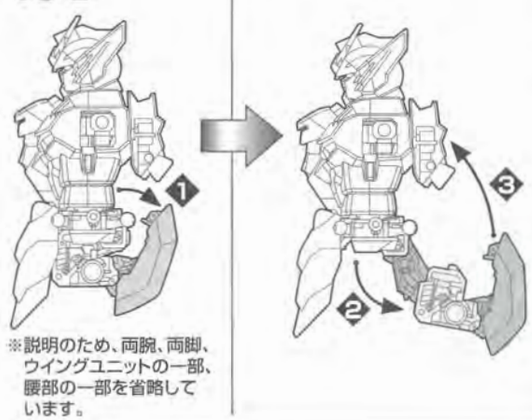
⚠ 先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。



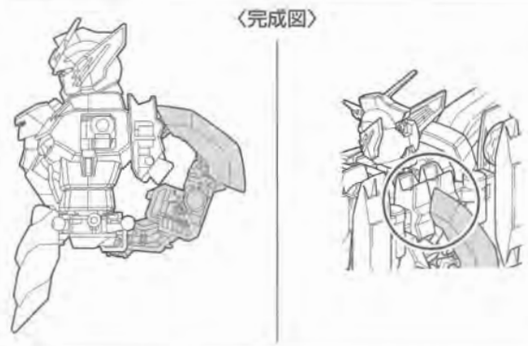
15-1 TRANSFORMATION
〔変形〕



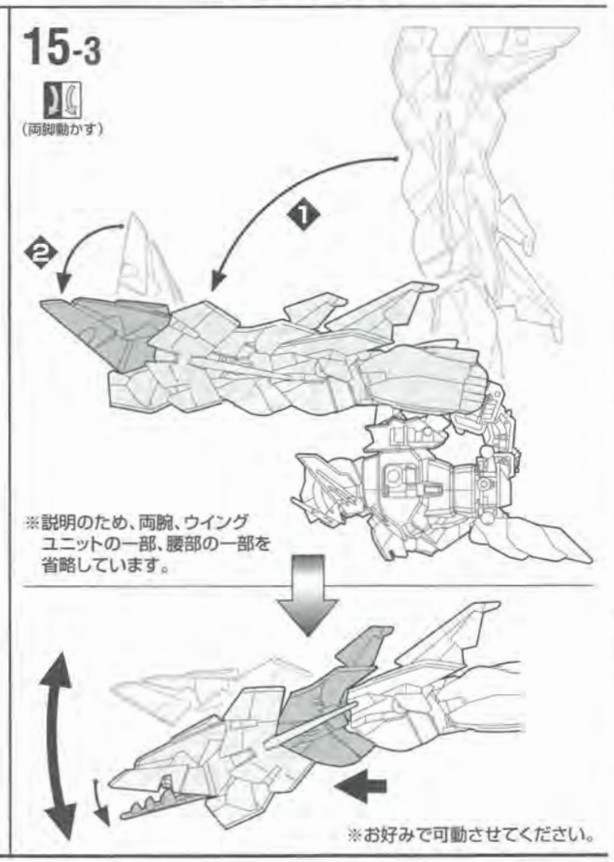
15-2



〈完成図〉



15-3



15-4

※P16 13-3 の状態に戻してから変形させます。

※H⑱は動かしません。

13-3

15-5

(両側動かす)

〈上から見た図〉

※ミゾにはまります。

※説明のため、一部イラストを省略しています。

15-6

15-4

※ヒートロッドは、関節を奥まで押し込んで固定してください。

H⑰

※バンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用してディスプレイすることができます。

Seal

〈シール〉 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

マーキングシールは「数字」、ガンダムデカールは「ひらがな」で表記してあります。
【例】①・・・マーキングシール　あ・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】 ※P3のガンダムデカールの貼り方を参考にあせらずゆっくり貼ってください。

1.転写するマークを大まかに切ります。
2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのものです。貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

シールド

ビームソード

ウイング後

胸部上

太もも付け根

※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。